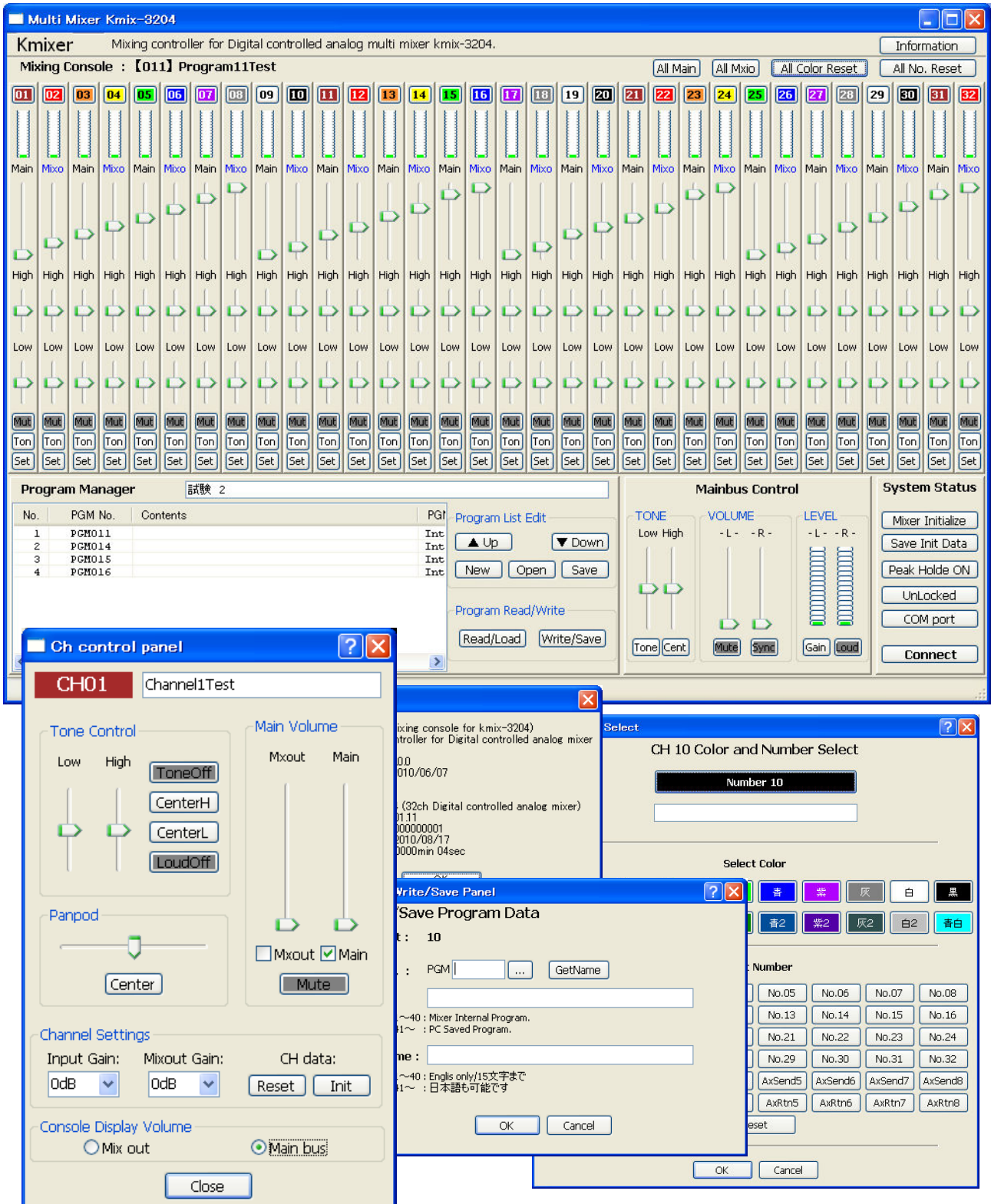


Kmix-3204 Controller

kmixer Version 2.3.0

取扱説明書



目次

1	セットアップ	3
1.1	kmixer のインストール	3
1.2	ドライバソフトのインストール	3
1.3	COM ポートの確認	3
2	接続および起動	4
2.1	接続	4
2.2	起動	4
3	メインウィンドウ	5
3.1	タイトルエリア	5
3.2	ミキシングコンソール	5
	(1)プログラム名称表示	5
	(2)チャンネル共通設定	6
	(3)チャンネル属性設定	6
	(4)レベルメータ	6
	(5)ボリューム設定、CH設定	7
3.3	Main Bus コンソール	7
	(1) Main 出力コントロール	7
	(2)トーンコントロール	7
	(3)レベルメータ	7
	(4)ラウドネス設定ボタン	7
	(5)ゲイン設定ボタン	7
3.4	システムコンソール	8
3.5	Program Manager	9
	(1) Program Manager の構成	9
	(2)プログラムリスト作成の流れ	10
	(3)新規プログラムデータの保存	10
	(4)修正したプログラムデータの保存(上書き保存)	11
	(5)新規プログラムデータの読出し	11
	(6)プログラム情報の読出し	12
	(7)プログラムリストの編集	12
	(8)プログラムリストのコメント	13
	(9)プログラムリストの新規作成・読出し・保存	13
4	チャンネル設定ウィンドウ	14
5	インターフェース (I F) ボックス	15
6	kmixer 使用上の注意	16
7	初期化ファイル	16

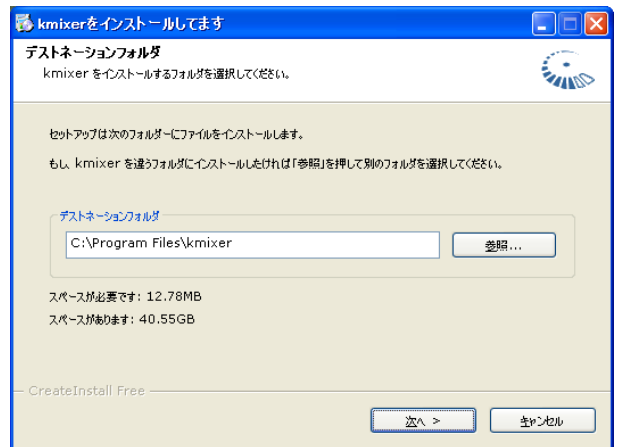
1. セットアップ

Kmixer を使用するにはソフトウェアおよびドライバをインストールします。

1.1 kmixer のインストール

- ① 付属のCD-ROMをパソコンにセットし、CD-ROMのフォルダを開きます。
- ② kmixSetup.exe をダブルクリックしてインストーラを立ち上げます。
- ③ インストールするフォルダ(デストネーションフォルダ)を指定します。特に問題なければデフォルトのままでも問題ありません。
- ④ 「次へ」ボタンを押します。
- ⑤ kmixer がインストールされます。デスクトップに kmixer のアイコンがセットされます。

図1: Kmixer インストーラ

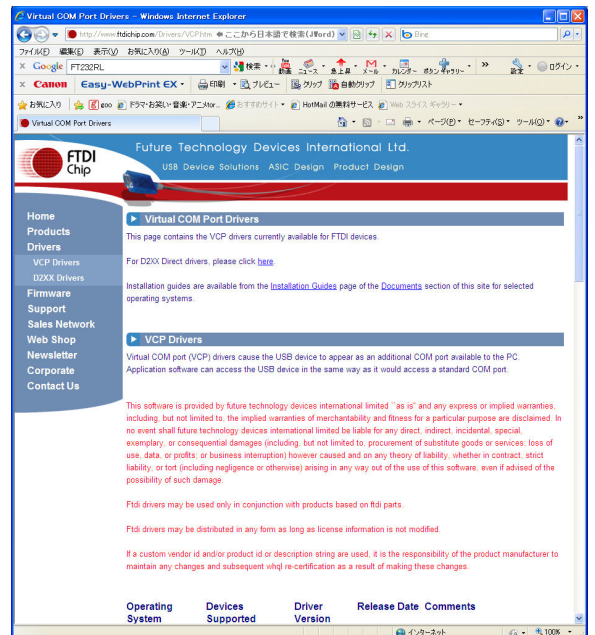


1.2 ドライバソフトのインストール

USB シリアルポートのドライバをインストールします。

- ① FTDI 社のホームページにアクセスします。
URL:
<http://www.ftdichip.com/Drivers/VCP.htm>
(2011年3月現在)
- ② このページから Virtual COM Port Driver をダウンロードします。
このページの中程にある Driver Version という欄の setup.exe のファイルをダウンロードします。(zip file ではありません)
2010年10月2日現在、最新バージョン 2.08.12
(ダウンロードしたファイルは CDM20812_Setup.exe という名称です。)
です。
ダウンロードした exe ファイルをダブルクリックして実行すると、ドライバソフトウェアがインストールされます。

図2: FTDI 社のホームページ



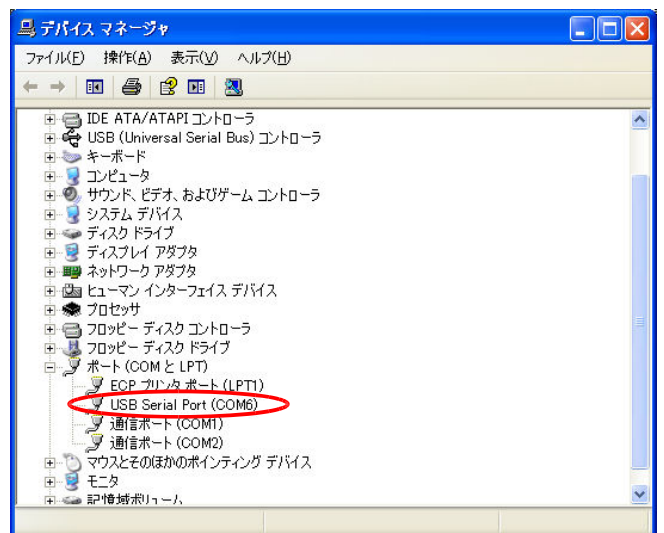
1.3 COMポートの確認

USB シリアルポートのCOMポート番号を確認します。

- ① USBポートに接続されている機器を全てはずします。
- ② kmix-3204のPCインターフェースボックスとPCをUSBケーブルで接続します。
- ③ Windowsのデバイスマネージャをオープンします。
- ④ 「ポート(COMとLPT)」をクリックします。
- ⑤ 「USB Serial Port」という記述があるので、そのCOM番号が kmixer で使用するCOMポートとなります。図ではCOM6となっています。

【注意】
USBポートに他の機器を接続した状態でポートを確認した場合はPC状態によってCOMポート番号が変わります。また、使用するUSBポートを変更しても使用するCOMポートが変わる場合があります。

図3: COMポートの確認(デバイスマネージャ)



2. 接続および起動

2.1 接続

PCとは専用のインターフェースボックス(IFボックス)を使用してUSB接続します。IFボックスとkmix-3204とはLANケーブルを使用して接続します。IFボックスとミキサー本体はRS-422/485信号を利用していますので、10m以上離しても正常に通信できます。



図4 : kmix-3204 との接続

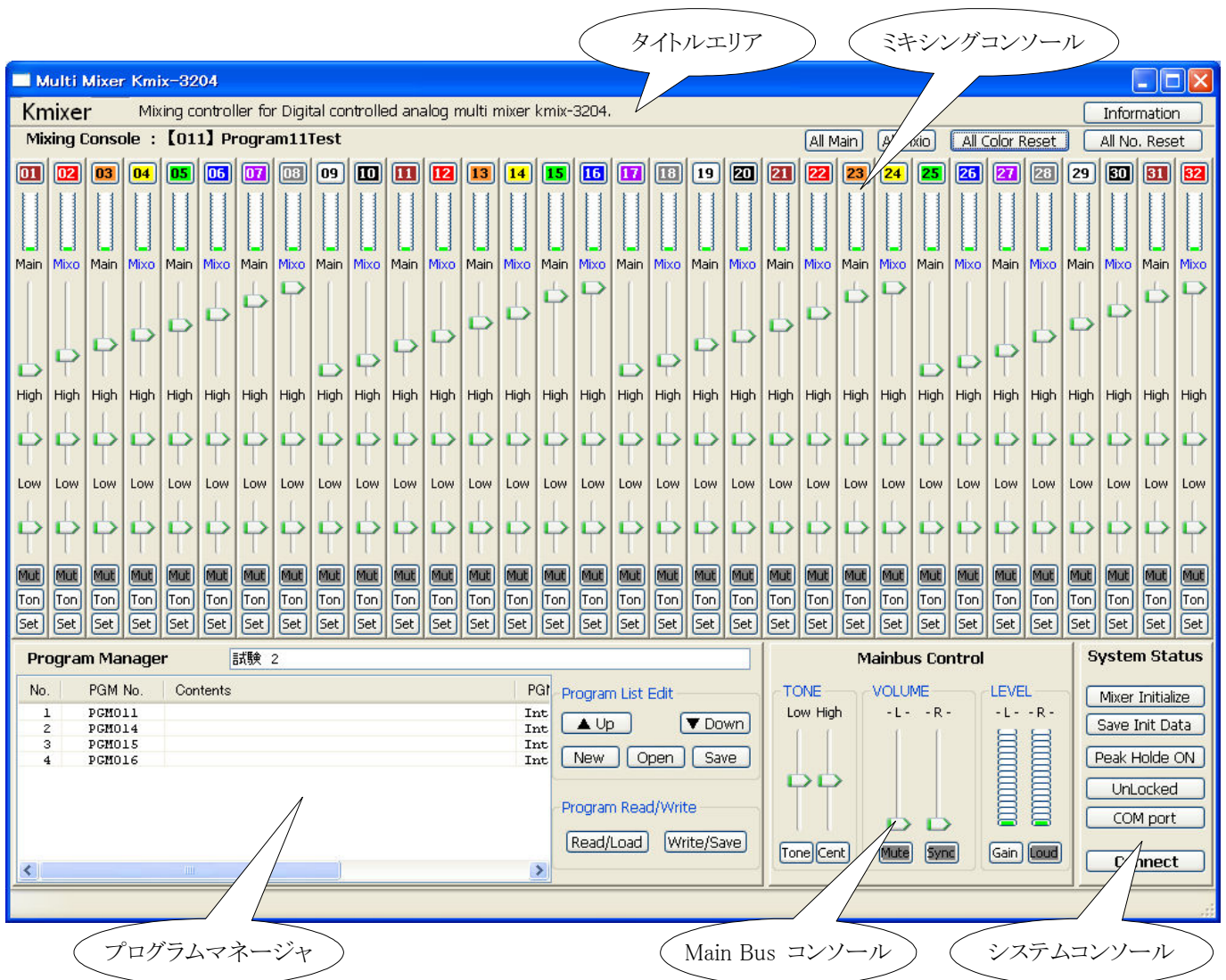
LANケーブルはストレートケーブルを使用してください。クロスケーブルは使用できません。

2.2 起動

kmixer.exe をダブルクリックすると以下のようなウィンドウが表示されます。

- タイトルエリア: Kmixer のタイトルを表示します。
- ミキシングコンソール: 各チャンネルのボリュームコントロール領域です。
- プログラムマネージャ: プログラムリストや各プログラムの情報を保存・読み出し・設定します。
- Main Bus コンソール: Main Bus のボリュームコントロール領域です。
- システムコンソール: システム設定の領域です。

図5 : メインウィンドウ



Kmix-3204 を接続し、立ち上げた状態で kmixer を起動すると、メインウィンドウ右下システムコンソール領域の接続インジケータに「 Syncing... 」と表示され、以下のメッセージウィンドウがポップアップします。

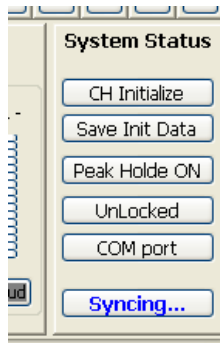


図6: Syncing... 表示



図7:メッセージウィンドウ

- メッセージウィンドウで kmix-3204 との同期の方法を選択します。
 - (1) 「Mixer→PC」： kmix-3204 の設定情報をアップロードし、 kmixer を kmix-3204 に同期します。
 - (2) 「PC→Mixer」： kmixer の情報を kmix-3204 にダウンロードし、 kmixer に同期させます。
 - (3) 「OK」： kmixer と kmix-3204 を同期させません。
- kmixer を立ち上げた後に kmix-3204 を起動すると、 kmix-3204 は初期設定状態のときに kmixer との同期待ちとなり、メッセージウィンドウが表示されます。30 秒以上放置すると、 kmix-3204 は初期設定状態を抜けて通常動作モードになります。
- 初期設定完了後、各種操作が可能になります。
- kmix-3204 を起動せずに立ち上げた場合は、システムコンソール領域に「 Disconnect 」と表示され、ミキサー本体とは独立した設定が可能です。

3. メインウィンドウ

3.1 タイトルエリア

Kmixer のタイトルを表示します。Information ボタンをクリックすると kmixer および接続されている kmix-3204 のバージョン情報を表示します。

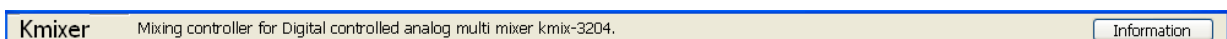


図8:タイトルエリア

Information ウィンドウには kmixer のバージョン情報、 kmix-3204 のバージョン情報、シリアル番号、稼働時間が表示されます。

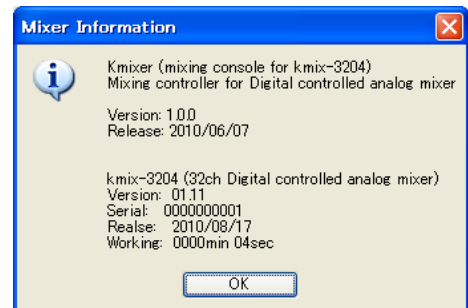


図9: Information ウィンドウ

3.2 ミキシングコンソール

(1)プログラム名称表示

ミキシングコンソールの最上部にはプログラム番号およびプログラム名称が表示されます。プログラム情報がない場合(新規作成の場合等)は何も表示されません。

(2)チャンネル共通設定

Kmixer では全チャンネルの設定を同時に変更する機能があります。

「All No. Reset」

プログラム名表示の右側の「All No. Rset」をクリックすると各チャンネルの番号が初期値にリセットされます。

「All Color Reset」

全てのチャンネル表示色をデフォルトの色に戻します。

「All Mixo」

各チャンネルのミキシングコンソール表示ボリュームをミックスアウトボリュームに設定します。

「All Main」

全チャンネルのミキシングコンソール表示ボリュームをMain 出力ボリュームに設定します。



図10:プログラム名表示と共通設定ボタン

(3)チャンネル属性設定

チャンネル番号をクリックすると右図のようなウィンドウがポップアップし、チャンネルの属性を設定できます。

①チャンネル名称設定

チャンネル名称を入力します。入力した名称はOKボタンを押してウィンドウを閉じた時に kmix-3204 に送信されます。kmix-3204 で表示可能な文字は英数字のみです。

②カラー設定

各チャンネルの表示初期を20色の中から選択できます。

③番号選択

各チャンネルに割り当てる番号を設定できます。CH01 からCH32の番号、Aux Send1～8、およびAux Return1～8の番号を任意に設定できます。マイク位置の変更等による追跡や、多数のエフェクタを利用するミキシング等に便利です。

Aux Send1～8、Aux Return1～8を設定した場合は、メインウィンドウにはそれぞれS1～8、R1～8と表示されます。

設定が完了したらOKボタンをクリックして確定します。キャンセルする場合はCANCELボタンをクリックしてください。

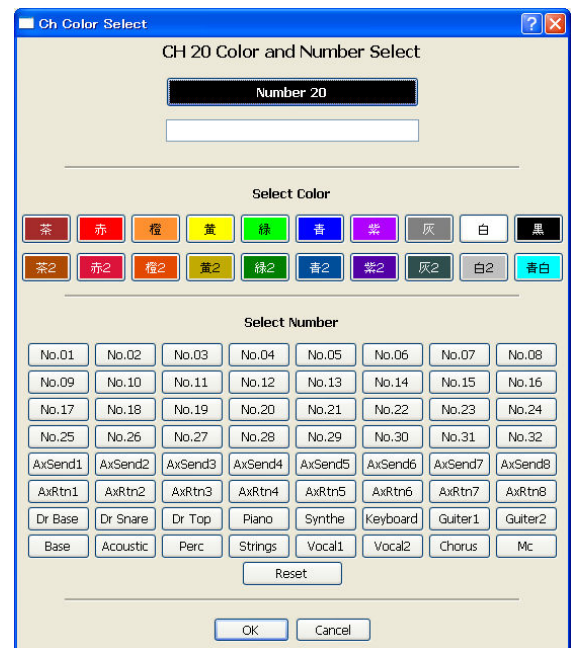


図11:チャンネル属性設定ウィンドウ

(4)レベルメータ

各チャンネルには16段階表示のレベルメータがあり、0.1秒毎に更新されます。ただしレベルメータはあくまで目安であり、正確な音声レベルを表すものではありませんのでご注意ください。

また、システムコンソール領域にある「Peak Hold ON/OFF」ボタンをクリックすると、レベルメータのピークホールド機能がON/OFFします。

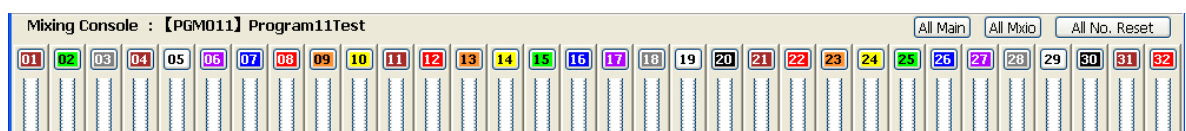


図12:レベルメータ

(5) ボリューム設定、CH設定

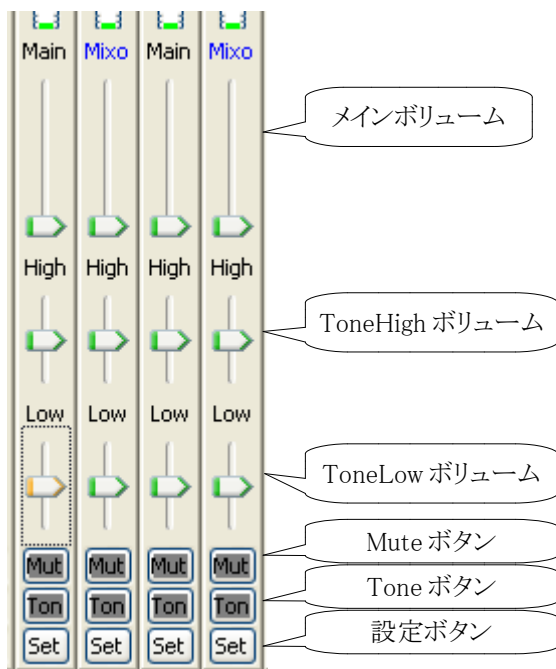


図 1 3 : ボリューム設定

① メインボリューム

メインボリュームは、Main out もしくは Mixout のボリューム調整をします。Main out / Mixout のどちらのボリュームをアサインするかはチャンネル設定ウィンドウで選択できます。

② トーンボリューム

トーン高音、トーン低音のボリューム調整をします。トーンコントロールは2チャンネル連動(CH1/CH2、CH3/CH4…)です。

③ Mute ボタン

Mute ON/OFFを行います。1チャンネル毎独立してON/OFFできます。Mute On で白色、Mute OFF で灰色となります。

④ Tone ボタン

Tone ON/OFFを行います。Tone On で白色、Tone OFF で灰色となります。2チャンネル連動(CH1/CH2、CH3/CH4…)です。

⑤ CH 設定 ボタン

チャンネル設定ウィンドウを開きます。チャンネル設定ウィンドウの詳細については 4. チャンネル設定ウィンドウをご覧ください。

3.3 MainBus コンソール

MainBus コンソールは、図 14 のように、Main 出力コントロール、トーンコントロール、レベルメータの3ブロックで構成されています。

(1) Main 出力コントロール

MainBus の左右の出力ボリュームを調整します。Mute ボタンをクリックするとL/R 両チャンネル Mute ON/OFF、Sync ボタンをクリックすると、左右同一ボリュームとなります。

(2) トーンコントロール

MainBus のトーンコントロールボリュームです。Tone ボタンをクリックするとトーンコントロールを ON/OFF、Cent ボタンをクリックするとトーンボリュームをセンターに設定できます。

(3) レベルメータ

MainBus 出力のレベルメータで、16 段階表示となっています。

(4) ラウドネス設定ボタン

MainBus 出力のラウドネス機能を ON/OFF します。

(5) ゲイン設定ボタン

MainBus の入出力ゲインを設定します。クリックするとMainBus ゲイン設定ウィンドウがポップアップします。入力ゲインは各チャンネルからの入力に対してのゲイン、出力ゲインはMainBus の出力ゲインです。

入力ゲイン: 0, -3, -6, -9, -12dB の5段階
出力ゲイン: 0, +3, +6, +9, +12dB の5段階

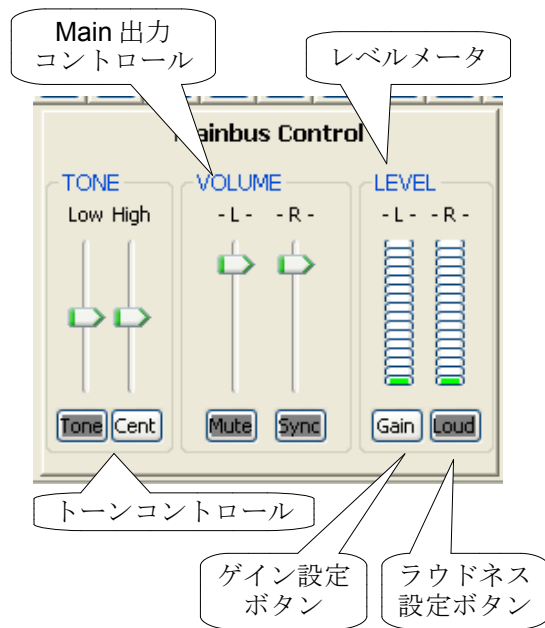


図 14 : Main bus コンソール

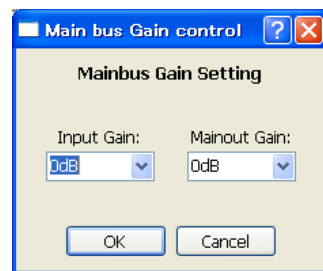


図 15 : Main bus ゲイン設定

3.4 システム コンソール

システムコンソールはミキサーの初期化や通信ポートの設定等システム全体の操作を行います。

- 「CH Initialize」
ミキサーの状態を初期化します。初期化する値は初期化ファイルを選択することにより自由に設定できます。
- 「Save Init Data」
「CH Initialize」で使用する初期化ファイルを保存します。このボタンをクリックするとファイル選択ウィンドウが表示され、その時の kmixer の状態を初期状態としてファイルに保存します。
- 「Peak Hold ON/OFF」
各レベルメータのピークホールド機能を ON/OFF します。各レベルがメータの最上位 3 段分(赤色表示)に入った時にピークホールド表示します。
- 「UnLocked」/「Locked」
kmix-3204 本体の操作パネルロック・アンロックを行います。
- 「COM port」
kmixer が使用するシリアルポートを設定します。このボタンをクリックすると図17のようなポート設定ウィンドウがポップアップします。インストール時に確認した COM ポート、ボーレートは 38400bps を設定してください。
- 「Connect」
kmix-3204 と同期化します。このボタンをクリックすると図18のような kmix-3204 接続ウィンドウがポップアップします。kmixer を kmix-3204 に合わせるか、kmix-3204 を kmixer に合わせるか選択できます。

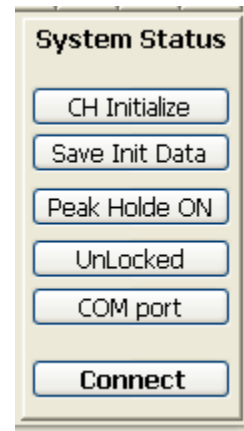


図 16 : システムコンソール

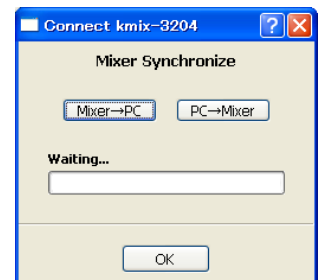
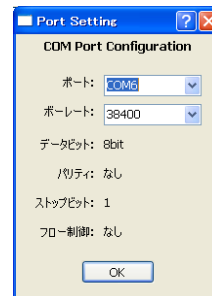


図 17 : ポート設定ウィンドウ 図 18 : 接続ウィンドウ

ミキサー状態の初期化について

kmixer は初期化状態をファイルに保存しておき、ミキサーの設定状態を任意の状態に初期化できます。初期化設定可能なデータを以下に示します。

各チャンネルのデータ

- Main out 出力レベル
- Main out ON/OFF 状態
- Mix out 出力レベル
- Mix out ON/OFF 状態
- Tone High レベル
- Tone Low レベル
- Tone ON/OFF 状態
- PANPOD レベル
- Mute ON/OFF 状態
- 入力ゲイン
- 出力ゲイン
- ラウドネス ON/OFF 状態
- kmixer ミキシングコンソール表示ボリューム (Main / Mixout)

Mainbus のデータ

- L / R 出力レベル
- Tone High レベル
- Tone Low レベル
- Tone ON/OFF 状態
- Mute ON/OFF 状態
- 入力ゲイン
- 出力ゲイン
- ラウドネス ON/OFF 状態

3.5 Program Manager

プログラムとは？

各チャンネルの設定、メインバスの設定のまとまりのことをプログラムといいます。プログラムデータとは各チャンネルの設定データおよびメインバスの設定データのまとまりで、プログラムデータを読み出すことにより、瞬時に各チャンネルおよびメインバスを設定できます。

また、プログラムには番号がついており、様々なプログラムデータを保存・読み出しできます。

プログラム番号1～40まではミキサー本体に保存され、プログラム番号41～999まではパソコン上に保存できます。なお、ミキサー本体に保存されるプログラムは、日本語名称は表示不可、英数字 15 文字までとなっております。

プログラムリストとは？

プログラムを並べたものをプログラムリストといいます。プログラムリストにはコメントを設定でき、ライブ名称や日付等により識別ができるようになっています。

プログラムリストはパソコンにのみ保存でき、ミキサー本体には保存できません。

Program Manager (プログラムマネージャ)とは？

プログラムマネージャはプログラムやプログラムリストを作成・編集するツールです。プログラムリストの順番、プログラム順番の編集、プログラムデータの保存・読み出し等ができます。

(1) Program Manager の構成



図 19 : プログラムマネージャ

■ プログラムリストコメントエリア

プログラムリストの説明文等のコメントを入力・表示します。

■ プログラムリストエリア

プログラムリストを編集・表示します。プログラム番号、名称、ファイル名を表示します。日本語の編集・表示も可能ですが、kmix-3204 本体のディスプレイには日本語表示はできません。

■ プログラムリスト編集エリア

プログラムリストの順番の編集、ファイルの保存・読み出し等の編集を行うエリアです。

■ プログラムデータ保存・読み出しエリア

プログラムの順番の保存・読み出しを行うエリアです。プログラム番号 1～40 (PGM1～PGM40) は kmix-3204 本体への保存 (Write)、読み出し (Read) を行い、プログラム番号 41 番以降 (PGM41～) は、PC 上のファイルとして保存 (Save)、読み出し (Load) を行います。

(2) プログラムリスト作成の流れ

図 20 にプログラムリスト作成の流れを示します。

① プログラム情報の作成

kmixer で各チャンネルのボリュームやスイッチ類、ゲイン等の設定値、Main Bus のボリュームやスイッチ類、ゲイン等の設定値を決定します。リハーサルのサウンドチェックや事前準備で行うミキシング設定と同様です。また、過去のプログラムデータを使用する場合は Program Manager でPC上のファイルもしくは kmix-3204 本体に記憶されたプログラムを読み出します。

② プログラムデータの保存・読出し

作成したプログラムデータを Program Manager でPCもしくは kmix-3204 本体に保存します。続けて別のプログラムデータを作成する場合は Program Manager で新しいプログラムを追加します。

すでに作成してあるプログラムデータをPCもしくは kmix-3204 から読み出し、必要があれば修正して再度保存します。

③ プログラムリストの編集

Program Manager で保存したプログラムはプログラムリスト上に表示されていますので、順番の入れ替え等を行います。

④ プログラムリストの保存

作成したプログラムリストを保存します。

これでプログラムリストの作成は完了です。保存したプログラムリストを読み出すことによりいつでも再現できます。

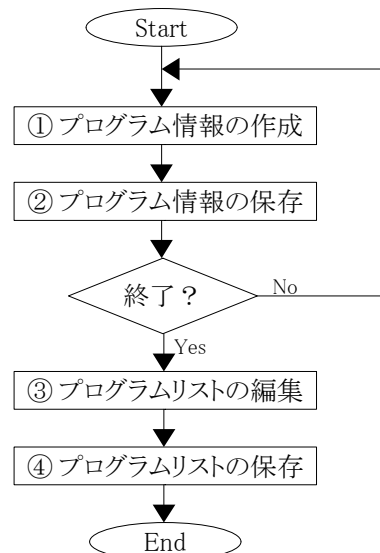


図 20 : プログラムリスト作成の流れ

(3) 新規プログラムデータの保存

kmixer で各チャンネルのボリューム値、Main Bus のボリューム値等を設定します。(プログラムデータの作成) Kmixer の最初の起動時、もしくはプログラムデータ保存・読出しエリアの「New」ボタンを押した時は、プログラムマネージャは図 21 のように表示され、新規プログラムリストを作成する状態になります。

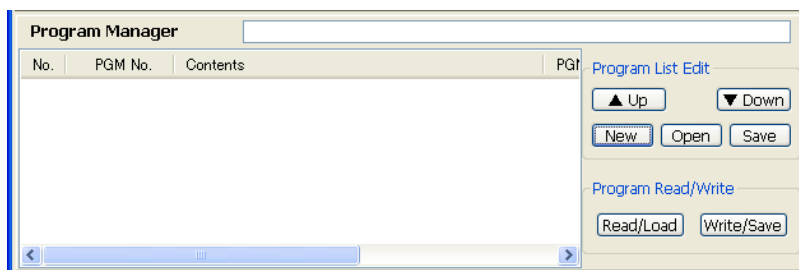


図 21 : 新規プログラムリスト作成状態

プログラムが何も選択されていない状態で、Program Read/Write エリアの Write/Save ボタンをクリックします。図 22 のようなプログラム保存ウィンドウが表示されますので、必要な情報を入力して保存します。

PGM No.

プログラム番号を入力します。ここで 1 ~ 40 を指定すると kmix-3204 本体への書き込み、41 以上を指定すると PC のファイル保存となります。

ボタンは PC にファイルを書き込む時のファイル選択ウィンドウを表示します (PGM41 ~)。ファイル選択により PGM 番号が変わることがありますので、注意してください。

ボタンは PGM 番号 1 ~ 40 を入力してクリックすると、kmix-3204 に書き込まれたプログラムの名称を読み出し、PGM Name に表示します。プログラムが書き込まれていなければ「Can't find Program」と表示されます。

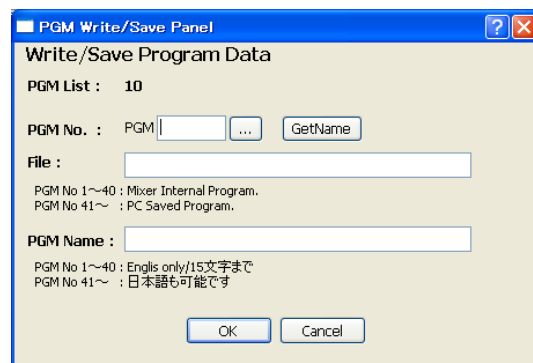


図 22 : プログラム保存ウィンドウ

File:

保存するファイル名を入力します。PGM No が 1 ～ 40 の範囲では kmix-3204 本体への書き込みですので指定する必要はありません。

PGM Name:

プログラム名称を入力します。日本語名称も可能ですが、その場合、kmix-3204 本体には表示できません。

OK ボタンをクリックするとプログラムデータが保存され、プログラムリスト領域に保存したプログラムが表示されます。同時に、ミキシングコンソール上部にプログラム番号と名称が表示されます。

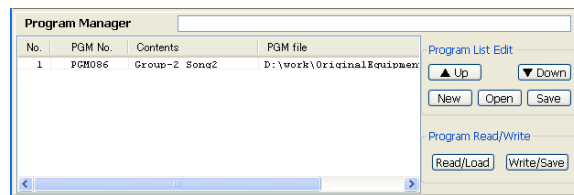


図 23 : プログラムの保存

(4) 修正したプログラムデータの保存 (上書き保存)

Program Manager のプログラムリストの中で選択 (クリック) し、Write/Save ボタンをクリックします。その時の kmixer の設定状態が保存されます。保存先は、PGM 番号が 1 ～ 40 の場合はミキサー本体に、41 以上の場合は PC のファイルです。

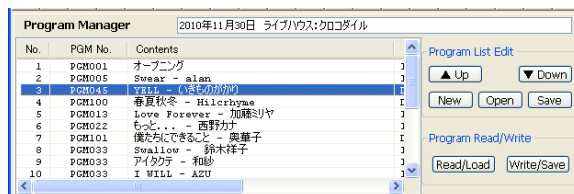


図 23 : 選択したプログラムの保存

(5) 新規プログラムデータの読出し

Program List 編集 エリアの New ボタンをクリックして、新規プログラムリスト作成状態 (プログラムを選択していない状態) にします。
あるいは、プログラムリストエリアでリストの範囲外をクリックしてプログラムを選択していない状態にします。

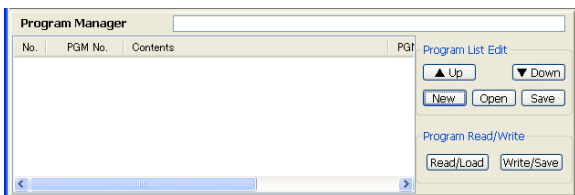


図 24 : 新規プログラムリスト作成状態

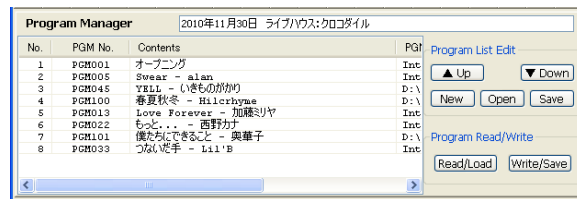


図 25 : プログラムを選択していない状態

Read/Load ボタンをクリックすると、図 26 のようなプログラム読出しウィンドウがポップアップします。

● ミキサー本体からの読出し

PGM 番号 1 ～ 40 を入力し GetName ボタンをクリックすると本体内部に記憶されているプログラム名称が PGM Name に表示されます。

本体内部にプログラムが記憶されていない場合は「Can't find Program」、記憶されているが名称設定がされていない場合は「Internal」と表示されます。この状態では名称のみの読出しで設定情報は読み出されません。

PGM 番号を入力して OK ボタンをクリックすると、kmixer-3204 本体のプログラムデータがミキサー本体と kmixer の両方に読み出されます。

● PCファイルからの読出し

... ボタンをクリックすると、ファイル選択ウィンドウがポップアップします。読み出すファイルを指定すると、ファイルのプログラムデータを kmix-3204 本体と kmixer に反映します。

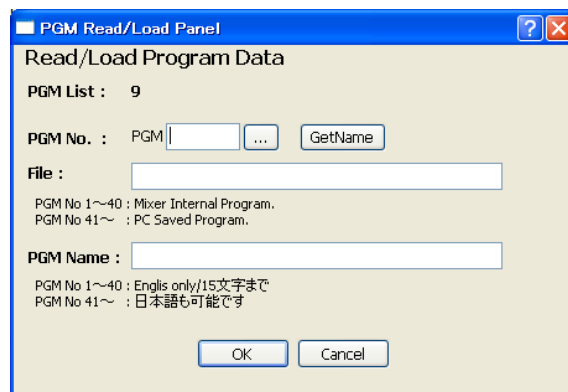


図 26 : プログラム読出しウィンドウ

プログラムの読出しが完了すると図 27 のようにプログラムリストに追加されます。

なお、プログラム読出し中はレベルメータは停止します。

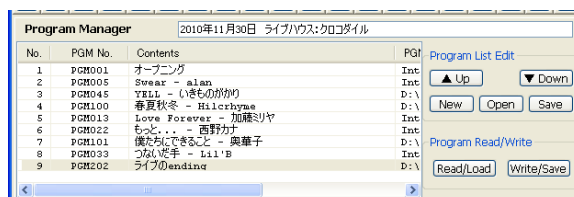


図 27 : 読み出したプログラムの追加

(6) プログラム情報の読出し

● プログラムの読出し方法(1)

プログラムリストエリアに表示されているプログラムをクリックして選択します。

Read/Load ボタンをクリックすると選択したプログラムの情報が kmix-3204 本体および kmixer に反映されます。

● プログラムの読出し方法(2)

プログラムリストエリアに表示されているプログラムをダブルクリックして kmix-3204 本体および kmixer に読み出します。

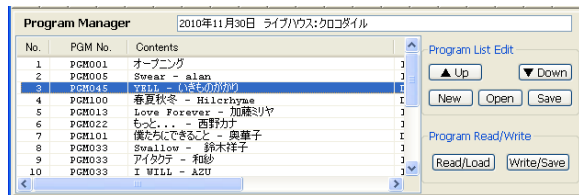


図 28 : プログラムの選択

(7) プログラムリストの編集

プログラムリストエリアで図28のようにプログラムを選択します。プログラムリスト編集エリアの「▲ Up」「▼ Down」ボタンをクリックすることにより、プログラムの順番を入れ替えることができます。

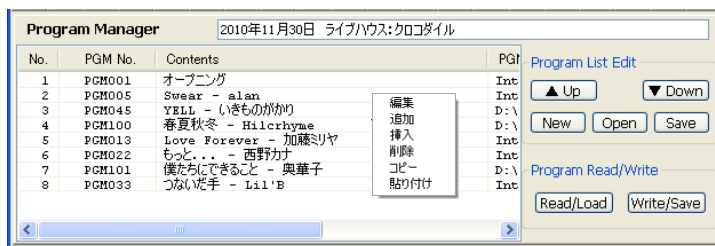


図 29 : プログラムを選択していない状態

Program List 編集 エリアでマウスを右クリックすると、図29のようなメニューが表示されます。

● 編集

編集メニューを選択すると図30のようなウィンドウがポップアップします。図30ではプログラムリスト3番を編集しています。

プログラム番号、名称、保存するファイルの編集ができます。ただし、プログラムリスト編集ではファイル名や名称を変更するだけで実際の保存・読出しは行われません。リスト上の操作のみとなります。

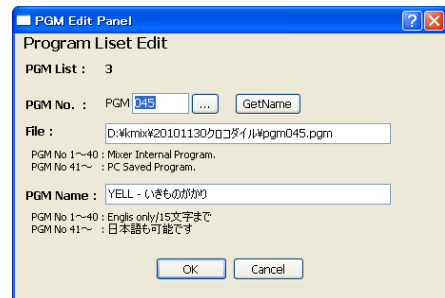


図 30 : 編集メニュー

● 追加

追加メニューを選択すると、図31のようなウィンドウがポップアップし、選択したプログラムの後ろに新しいプログラムを追加します。

● 挿入

挿入メニューを選択すると、図32のようなウィンドウがポップアップし、選択したプログラムの前に新しいプログラムを挿入します。

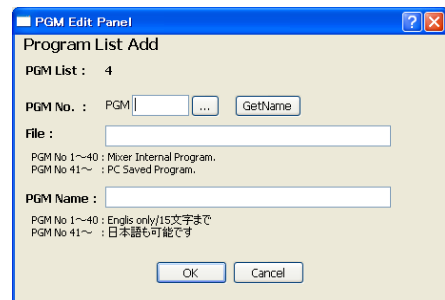


図 31 : 追加メニュー

● 削除

選択したプログラムを削除します。

● コピー

選択したプログラムを kmixer 内部にコピーします。

● 貼り付け

kmixer 内部にコピーしたリストを貼り付けます。

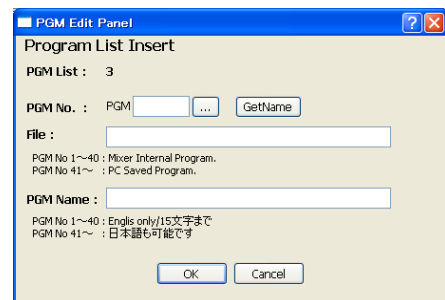


図 32 : 挿入メニュー

【注意】

プログラムリスト編集はリスト情報を編集するもので、実際のファイルの内容や kmix-3204 本体のプログラムは変更しません。プログラムを変更する場合は Write/Save ボタンをクリックしてください。

(8) プログラムリストのコメント

プログラムリストに日付やライブ会場等のコメントをつけることができます。コメントはプログラムリストファイルに保存されますので、読み出した時にどのようなミキサー設定なのかのヒントになります。

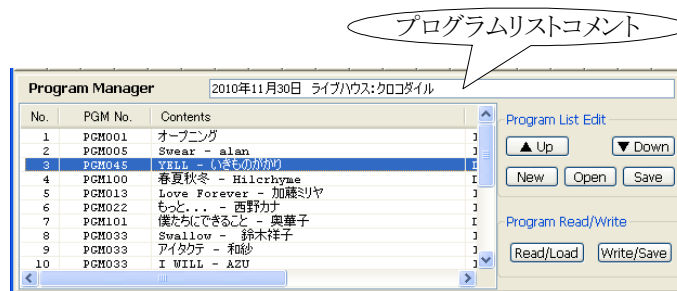


図 33 : プログラムリストコメント

(9) プログラムリストの新規作成・読み出し・保存

● プログラムリストの新規作成

プログラムリスト編集エリアの New ボタンをクリックしてください。表示されていたプログラムリストが消えて、新規作成状態になります。

● プログラムリストの読み出し

プログラムリスト編集エリアの Open ボタンをクリックしてください。プログラムリストファイルから読み出します。なお、プログラムリストを読み出すのみで、実際のミキサー設定は変更されません。プログラムリストを読み出した後で設定したいプログラムをダブルクリックするか Read/Write ボタンをクリックしてプログラム情報を読み出してください。

● プログラムリストの保存

プログラムリスト編集エリアの Save ボタンをクリックしてください。プログラムリストをファイルに保存します。保存したプログラムリストはいつでも読み出すことができます。

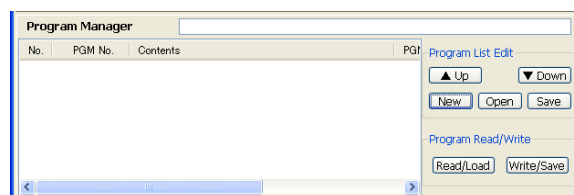


図 34 : プログラムリストの新規作成

【注意】

プログラムリストの保存は、プログラムリスト情報 (PGM番号、名称、対象ファイル、プログラムリストのコメント) を保存します。実際のプログラムデータは保存しません。したがって、プログラムリストで使用しているファイルや kmix-3204 本体のプログラムデータを変更した時はプログラムリストを読み出しても正しく動作しなくなる場合があります。

4. チャンネル設定ウィンドウ

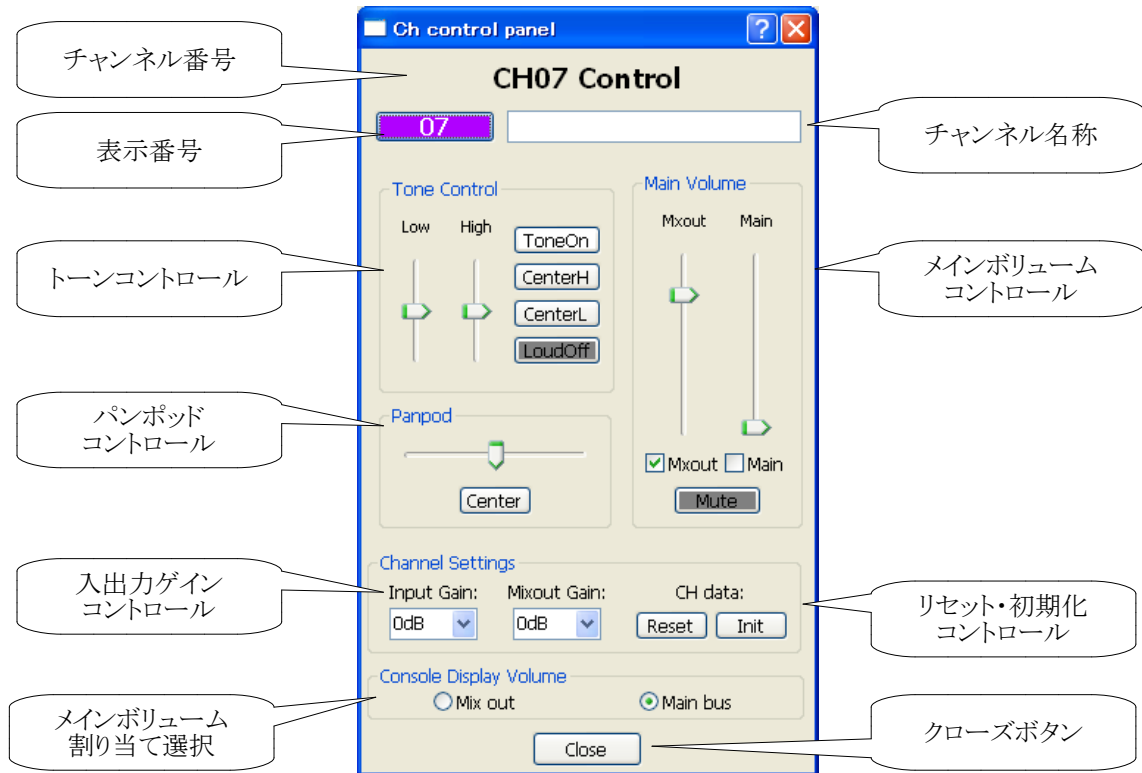


図 35 : チャンネル設定ボタン

■ チャンネル番号

現在設定中のチャンネルを表示します。

■ 表示番号

メインウィンドウに表示されている番号を示します。このボタンをクリックすると、チャンネル属性設定ウィンドウがポップアップします。チャンネル属性設定ウィンドウについては、3. 2 ミキシングコンソールの(3)チャンネル属性設定(6ページ)を参照してください。

■ チャンネル名称

「チャンネルの名称を入力・表示します。Close ボタンを押した時に名称が kmix-3204 本体に送信されません。kmix-3204 本体は英数字のみ表示できます。

■ メインボリュームコントロール

ミックスアウト、メインバス出力のそれぞれのボリュームを調整します。出力する・しない および ミュート ON/OFF を選択できます。

Mixout ボリュームを OFF した時はレベルメータを有効にするため、Main out ボリュームと同じ値になります。

■ トーンコントロール

トーンボリュームを ±5 段階で調整します。「ToneON」ボタンによりトーン ON/トーン OFF を選択できます。さらに、「CenterH」「CenterL」ボタンにより低音側・高音側それぞれを中心値に合わせることができます。Loud ON/OFF ボタンにより、チャンネル毎のラウドネス機能を ON/OFF できます。(ラウドネスは Mixout のみに有効です。Main out には有効ではありません。)

■ パンポッドコントロール

パンポッドを ± 20ポイントで調整します。「Center」ボタンにより、中心に設定できます。なお、パンポッドはメインバス出力のみ有効です。

■ ゲイン・リセットコントロール

チャンネル入力ゲイン、ミックスアウト出力ゲインを 5 段階で設定できます。調整できる値は、入力: 0dB、-3dB、-6dB、-9dB、-12dB、ミックスアウト出力: 0dB、+3dB、+6dB、+9dB、+12dB です。

「Reset」ボタンにより、チャンネルの各設定(ボリューム、トーン、スイッチ状態)をリセット状態に設定します。

「Init」ボタンにより、チャンネルの各設定をファイルに保存された任意の初期設定値に設定できます。

■ メインボリューム割り当て選択

Mixing Console に表示するメインボリュームを Mix out にするか Main bus 出力にするか選択できます。

■ クローズボタン

詳細設定のウィンドウを閉じます。

5. インターフェース(IF)ボックス

インターフェースボックスはPCとkmix-3204を接続するもので、図36のようにUSBケーブルとLANケーブル(ストレートケーブル)で接続します。IFボックスとkmix-3204の間は専用の信号(RS-422/485)で接続されますので、LANケーブルを使用しますが、PCのLANポートには絶対に接続しないでください。

IFボックスとkmix-3204はRS-422/485の信号ですので、50m以上離れても通信できます。kmix-3204をステージ近くに配置してサブミキサーとして使用し、遠隔操作することもできます。



図 36 : kmix-3204 との接続

IFボックスは、PCとkmix-3204通信時に緑色LEDと赤色LEDが点灯します。

緑色LED: kmix-3204からPCへのデータ通信時に点灯します。

赤色LED: PCからkmix-3204へのデータ通信時に点灯します。

PCとkmix-3204はレベルモニタ情報等常に通信しておりますので、kmixerが起動している時にLEDが点滅しない場合はデータ通信が正常に行われていない可能性があります。

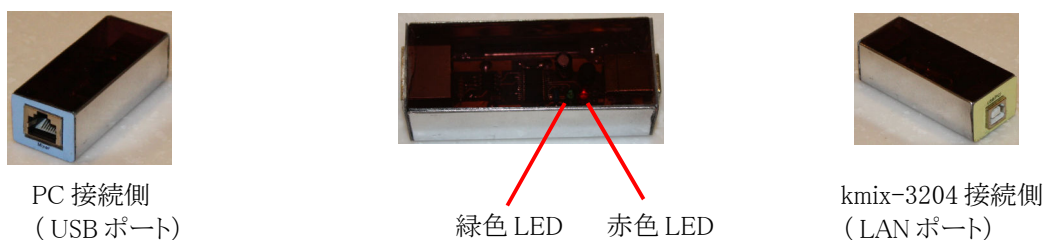


図 37 : インターフェースボックス外観

6. kmixer 使用上の注意

kmixerを使用する上では以下の点に注意してください。

① PCの性能・機能

PCは必ずUSBポートがあるものを使用してください。USBポートがないとkmix-3204と接続できません。

性能については特に規定はありませんが、あまり古いPCの場合、kmixerの処理が間に合わず、kmix-3204との通信が正常に行われなくなる可能性があります。なるべく新しいPCを使用してください。

Intel CoreシリーズのCPU以上の性能がある場合は全く問題ありません。

② レベルメータ

Kmixerは各チャンネルおよびMain Busにレベル表示を行いますが、あくまで目安であり、正確な音声信号のレベルを表示するものではありません。

③ 2ch一組でしか操作できないもの

kmix-3204は内部の構造上、以下の項目については各ch独立ではなく、2ch一組(1/2, 3/4, 5/6...)でしか操作できませんのでご注意ください。

- トーンコントロール
- ラウドネス機能
- 入出力ゲイン

④ ボリューム調整について

Mixoutをオフにした時はMain出力ボリュームと同じ値となります。kmix-3204は内部の構造上、各チャンネルのレベルをMixout側でモニタしています。したがって、Mixoutを使用しない場合はチャンネルのレベルがモニタできなくなりますので、Mixoutを使用しない場合は強制的にMain outと一致させます。

また、Mixout出力オフの状態、メインウィンドウのコンソール上でMixout操作をしようとしてもボリュームは動きません。

⑤ 接続上の注意

kmix-3204の各チャンネルは入出力ジャックとなっておりますので、必ずステレオプラグを使用してください。詳細はkmix-3204取扱説明書に記載されていますので、そちらをご参照ください。

⑥ PCとの通信について

kmix-3204とPCの通信については、断線したり、接触不良を起こしても自動的に復帰動作を行います。万能ではありません。PC～kmix-3204までの接続は信頼性の高いものを使用してください。

⑦ 複数台のkmix-3204との接続

1台のPCに複数代のkmix-3204を接続して操作することができます。1台のkmix-3204に対して1台のインターフェイスボックスおよびkmixerが必要となります。

kmixerは通信ポートをターゲットとなるkmix-3204に合わせます。

ただし、一つのkmixerで複数代のkmix-3204を操作することはできません。

⑧ kmixer から利用できない機能

kmix-3204内部に記憶されたデータを出荷状態に戻す機能(全消去機能)はkmixerから利用できません。

記憶データを全消去する場合はkmix-3204本体で行ってください。

7. 初期化ファイル

kmixer をインストールすると、ミキサーの初期化データファイルもインストールされます。初期化ファイルの名称と内容は以下のようになっております。なお、ミュート、ラウドネスは全てのファイルでOFF設定となっております。

●all1000Mn_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mixout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : OFF トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : OFF コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all1000MnMx_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mixout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : OFF コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all1000MnMx_Mx. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mixout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : OFF コンソール表示 : Mix out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all1000TnMn_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mixout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : OFF トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all1000TnMnMx_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mixout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all1000TnMnMx_Mx. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mixout ボリューム : $-\infty$ (最小) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON コンソール表示 : Mix out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON

●a11050Mn_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mixout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : OFF トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : OFF コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●a11050MnMx_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mixout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : OFF コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●a11050MnMx_Mx. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mixout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : OFF コンソール表示 : Mix out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●a11050TnMn_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mixout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : OFF トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●a11050TnMnMx_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mixout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●a11050TnMnMx_Mx. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mixout ボリューム : -47dB (ハーフ) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON コンソール表示 : Mix out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON

●all100Mn_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : 0dB (最大) Mixout ボリューム : 0dB (最大) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : OFF トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : OFF コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all100MnMx_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : 0dB (最大) Mixout ボリューム : 0dB (最大) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : OFF コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all100MnMx_Mx. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : 0dB (最大) Mixout ボリューム : 0dB (最大) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : OFF コンソール表示 : Mix out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all100TnMn_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : 0dB (最大) Mixout ボリューム : 0dB (最大) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : OFF トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all100TnMnMx_Mn. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : 0dB (最大) Mixout ボリューム : 0dB (最大) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON コンソール表示 : Main out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON
●all100TnMnMx_Mx. kmx	【チャンネル設定】 Mainout ボリューム : 0dB (最大) Mixout ボリューム : 0dB (最大) Mainout 出力 : ON Mixout 出力 : ON トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON コンソール表示 : Mix out	【MainBus 設定】 左 ボリューム : 0(最小) 右 ボリューム : 0(最小) トーンボリューム : 0 トーンスイッチ : ON

Kmixer Version2.3.0 取扱説明書

2010年	9月	15日	第1版	発行
2010年	10月	1日	第2版	発行
2010年	11月	15日	第3版	発行
2011年	1月	2日	第4版	発行
2011年	3月	28日	第5版	発行

発行元 作る-com
<http://www.tsukuru-com.jp>